



ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局
●広島県立総合技術研究所
畜産技術センター技術支援部
〒727-0023
庄原市七塚町584番地
TEL 0824-74-0331
FAX 0824-74-1586

【研究成果発表報告1】「県南北移動放牧による周年放牧を実現！」

2月19日に、県東部建設事務所三原支所と佐木島(三原市)で、近畿中国四国農業研究センターを中核機関とする共同研究(7つの機関:平成22～24)で実施した「広域連携周年放牧の支援技術開発」に関する成果発表会を開催しました。

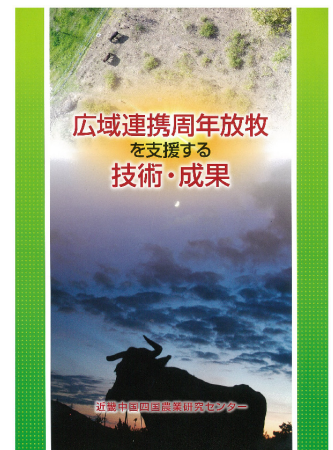


現地検討会のようす

口頭発表は次の7つです。

- (1)そしゃく行動による転牧時期の判定
- (2)IT活用による放牧地探索と草量推定
- (3)ICTを活用した放牧牛遠隔管理システムの構築
- (4)広域連携周年放牧のLCAによる環境影響評価
- (5)ススキ草地は冬季でも放牧が可能
- (6)夏作・冬作牧草の理由による放牧期間延長技術
- (7)広域連携周年放牧の影響評価

現地検討会は、庄原市の集落営農法人「ファームおよう」が所有する繁殖和牛2頭が放牧されている佐木島で行いました。日常の世話は、島の住民組織「元気さぎしま協議会」の皆さんに委託され、これら地域間で物流も含めた交流も進みつつあります。成果の詳細は、冊子(写真)に取りまとめられています。ご希望の方は当センター技術支援部にご連絡ください。



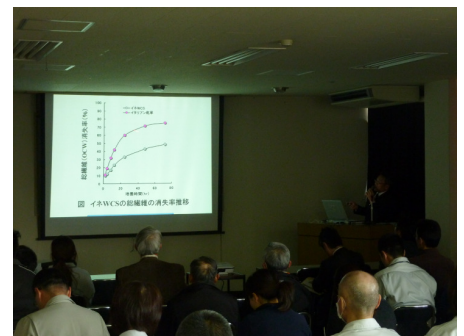
周年放牧成果集

【研究成果発表報告2】「飼養技術及び育種繁殖研究部員が発表！」

3月5日に、当センターで、成果発表会を開催しました。特別講演を1題、成果発表を口頭で4題、ポスターで12題を行いました。

特別講演は、「ななつかの風第4号」で紹介した日本草地学会賞を受賞の飼養技術研究部・新出部長が「飼料イネWCSの乳牛への給与技術と混合飼料の開発」について紹介しました。講演の中で、茎葉中に糖分を豊富に含み、消化性も良い「たちすずか」が誕生した経緯についての解説もありました。

ちなみに、「たちすずか」と命名したのは新出部長です。



特別講演のようす

口頭による発表は次の4名が行いました。

城田副主任研究員は、「たちすずか」WCSは栄養価に優れ、泌乳中後期牛に対して混合飼料(TMR)に乾物で35%の割合で混合給与が可能で、良好な泌乳成績を得たことを報告しました。

森本副主任研究員は、当センターの特許技術である「そしゃくセンサー」を用いて、放牧牛の採食や反芻のそしゃく行動を観察したデータ解析から、転牧適期を判定するための指標を発見したことを報告しました。

山崎研究員は、肉の美味しさに関連すると言われている不飽和脂肪酸(オレイン酸など)の含有量をも高める遺伝子型について、県産和牛500頭以上を調べた結果を紹介しました。また、育種改良に向けた新たな項目選定の可能性を報告しました。

戸水研究員は、当県が保有している基幹種雄牛の特徴を牛舎前で説明し、相性の良い交配系統を示すと共に、第10回全国和牛能力共進会の第1区(若雄の部)で全国第4位の栄誉に輝いた「3柴沖茂」の今後の後代検定計画について紹介しました。

これらの成果に関する情報は、当センターホームページに掲載しています。また遠慮なく、直接、問い合わせ下さい。



【講習会実施報告】 家畜人工授精師養成講習会について

1月29日～2月27日の間、農業技術大学校と畜産技術センターを講習会場として、家畜人工授精師養成講習会が開催されました。

当センター職員も「家畜の飼養管理、家畜審査、発情鑑定、家畜人工授精」などの講義と実習を担当しました。21名の方々が資格を取得されました。



おめでとうございます。

人工授精の実習のようす→

編集後記：先輩方とのお別れ、新任地に向かう同僚や後輩との別れの季節。「ななつかの風」第5号は、こんな慌ただしい中で執筆することとなりました。情報の価値は、スピードと正確さ！もっと早く発信できるよう、後任に引き継ぎます。・・・TH